

第13回

日本在宅薬学会学術大会
スポンサードレクチャー2

大会長 佐々木 均 先生
長崎大学病院薬学部教授・薬剤部長
会期 2020年9月13日～27日

Withコロナ時代の 地域包括ケアを支えるICT利用

座長：みなみの株式会社 みなみの薬局グループ代表取締役
原崎 大作 先生

演者：桜新町アーバンクリニック院長
遠矢 純一郎 先生



遠矢 純一郎 先生

■略歴

1992年
鹿児島大学医学部卒業。
鹿児島大学医学部第3内科所属。

2000年
用賀アーバンクリニック
開業時より参画。
副院長を務める。

2004年
在宅医療部 設立。
東京神奈川エリアで2500人
の在宅医療に成長。

2009年
桜新町アーバンクリニック
院長に就任 現職

9/14 月
19時40分～
20時40分

COVID-19の第一波において、感染リスクを低減するために採られた人と人との接触を避けることを目的に、多くの分野でオンライン活用が急拡大したが、在宅医療・介護領域においても連携や会議、情報共有や教育など、様々な活用が図られている。

当院での取り組みや在宅医療—薬局連携を含めて、様々な地域での取り組みを紹介する。世界を大きく変えたコロナ禍において新たな役割や対応が求められる地域包括ケアだが、今後のICT活用のNew normalを考える機会となれば幸いである。

<ご視聴について>

受信映像や発表スライドの撮影、録音、再配布を禁止いたします。

本学術大会にご参加の方のみご視聴いただけます。

ご視聴方法、最新情報は大会ホームページをご確認下さい

<http://congress.jahcp.org/>

共催：第13回日本在宅薬学会学術大会/株式会社グッドサイクルシステム